

学校給食で 元気もりもり

給食は学校での「食育」の中心を担っており、年間約180食を子ども達に提供しています。学校給食は子ども達に美味しい食生活を体験させ、学ばせる教育活動です。



■「地産地消」で支える

南部町の学校給食はほぼ毎日「米飯給食」です。地元産の米に少量の麦を入れた麦ごはんや地元の野菜や果物をふんだんに使用した地産地消の給食に取り組んでいます。これは、子ども達に旬の食材を味わう喜びを学ばせるためにも大切なことだと考えています。

地元産食材は、町内の食材供給連絡協議会や加工グループ、JAなどの協力により、年間40品目以上の食材を納品していただいています。また、使用する食材のうち県内産の占める割合は、6割を超えており県平均を上回っています。

■「食育」の取り組み

町内5つの小中学校では、栄養教諭や学校栄養職員が給食時間に食事のマナーや朝食の大切さ、健康な体づくりの指導をす

る他、担任の先生と一緒に食育の授業もしています。総合的な学習の時間には、子ども達は野菜や米作りにも取り組み、食物を収穫する喜びや大変さを学んでいます。また給食センターでは、児童・生徒にオリジナルの給食献立を募集し、優秀な献立は実際に給食として出しています。『じゃがいもたっぷりゴロゴロスープ』皆さんも食べてみてくださいませんか。

■文部科学大臣表彰を受賞しました

西伯給食センターは、今年度の学校給食文部科学大臣表彰を受賞しました。安全・安心な学校給食の提供や食育の取り組み、高い衛生管理基準をクリア

したセンターの施設・設備が高く評価されました。「地元産の食材を提供していただく皆さん、それをおいしく調理される調理員の皆さんはもとより、献立作りや給食を指導する教職員等、学校給食に関係する多く皆様に心より感謝します。」(永江教育長談)

を「ご負担いただきますが、残念ながら毎年滞納が発生しており、平成20年度は38万円(39件)、平成21年度33件、22年度(27件)はそれぞれ51万円となっています。

教育委員会では、給食費を滞納されている保護者に対し、電話や訪問等によって繰り返し納付をお願いをしています。

の公平性確保の観点から、職員一同引き続き努力してまいります。滞納となっている保護者の皆様には一層のご理解をお願いします。

入賞献立の紹介

小学生による
「わたしの理想の給食献立コンテスト」から



しらすのかんたんずし、牛乳、ささみフライ、じゃがいもたっぷりゴロゴロスープ、えのきとほうれんそうのごまあえ、三色ゼリー

■給食費滞納ゼロをめざして

給食費は、子ども達が食べる給食の食材料を購入する費用に当てられます。1食の単価は、小学生が26円、中学生は31円となっており、このうち13円は町が補助しています。食材料費以外の学校給食にかかる費用は、全て町費(税)で賄っています。保護者の皆様には毎月定額の給食費(小学生4300円、中学生4800円)

■給食費の支払いが困難な場合は…

経済的な理由で給食費の支払いが困難な場合は、公的な支援や援助の制度がありますのでご相談下さい。

【問合せ先】

教育委員会事務局

総務・学校教育課

☎ 64・3787